

◇◇近畿病院図書館協議会◇◇

平成25年度 第40回 総会 報告

日時：平成26年3月20日（木）

13：00～14：30

会場：キャンパスプラザ京都2階 第一会議室

総会プログラム

開会

1 会長挨拶

2 議長・副議長・書記 選出

議長：春日井泉江

副議長：深井 鮎美

書記：武田 昭子

3 議案審議

1) 平成25年度活動報告

2) 平成25年度会計・監査報告

3) 審議事項

4) 平成26年度活動方針

5) 平成26年度事業計画

6) 平成26年度予算

7) 平成26年度役員改選結果

幹事：井上智奈美（三菱京）

川野 眞樹（京二赤）

寺澤 裕子（関労災）

事務局会計兼任

畑 美之（阪警察）

藤原 純子（音羽病）

松井美抄枝（大労災）

事務局総務兼任

監査：石川 尚子（住 友）

森 仁那（滋賀医）

（選挙管理委員：山口 智子（奈社病）

田中 浩章（神労災）

8) 平成26年度会長・事務局長承認結果

会長：井出千東氏（藍野大学中央図書館長）

事務局長：増田徹（藍野大）

（議案3）～8）は審議の結果承認された）

閉会

総会員数：120 機関（うち議決権 116 機関）

出席：33 機関

委任状：63 機関

合計：96 機関（会員の2/3以上の数のみ
たし総会成立）

議案 I. 平成25年度活動報告

平成25年度も、例年同様の事業活動が行えた。研修会3回、勉強会2回、三図協シンポジウム1回と交流会2回を開催し、内容においても十分なものを行うことができた。会誌も独創的な特集や連載を組み、年4回発行した。今後は発行頻度を抑えるので、発行の遅れも自然と取り戻すこととなる。統計調査は平成25年度が簡易調査の年で、82.9%という高い回答率で回答を得ることができた。ホームページについては、とりわけ会員専用ページの改修を進めており、完成すれば新たな会員間のコミュニケーションツールとして活用されることになるであろう。目録は平成25年度よりKITOcatという形でスタートしたが、これまでと変わりなく利用されている。

I-1. 協議会の運営

I-1-1. 会員の状況

会員数：120 機関（会員 116、賛助会員 4）
（平成26年2月現在）

入会：1 機関 りんくう総合医療センター

退会：2 機関 京都南病院、独立行政法人
科学技術振興機構（賛助会員）

強制退会：4 機関 東大阪生協病院、兵庫県立塚口病院、高砂西部病院、奈良県立奈良病院

第 4 回 2013 年 1 月 21 日（火）大阪 7 名

I-1-2. 役員会

1. 活動報告

2014 年 2 月 14 日、藍野大学において平成 25 年度役員会が開催された。参加者は 6 名。役員会資料（平成 25 年度議案書草案）に沿って議事進行し、平成 25 年度の活動報告、会計報告を審議し、一部語句の修正を加えて了承された。また、平成 26 年度の活動方針案、事業計画案、予算案についても同様に審議され、追加・訂正を加えて総会に諮ることになった。

次に、平成 26 年度会長については井出千東藍野大学中央図書館長が選出された。また、事務局長には増田 徹（藍野大）が再選された。会則に則り、それぞれ今年度の第 40 回総会に諮ることになった。

2. 平成 25 年度役員

会 長：井出 千東（藍野大学中央図書館長）

事務局長：増田 徹（藍野大）

幹 事：井上智奈美（三菱京）

川野 眞樹（京二赤）

寺澤 裕子（関労災）

事務局会計兼任

畑 美之（阪警察）

藤原 純子（音羽病）

松井美抄枝（大労災）

事務局総務兼任

監 査：石川 尚子（住 友）

森 仁那（滋賀医）

I-1-3. 幹事会

1. 活動報告

4 回の幹事会を開催し、会の運営にあたった。

第 1 回 2013 年 4 月 15 日（月）大阪 5 名

第 2 回 2013 年 7 月 29 日（月）大阪 6 名

第 3 回 2013 年 10 月 21 日（月）大阪 7 名

I-1-4. 事務局

1. 活動報告

(1) 総会・役員会・幹事会の開催

(2) 会計業務ならびに関係書類の整備

(3) ニュースレターの配信

21 号（平成 25 年 3 月 8 日）

前年度総会議案書送付後の配信

22 号（平成 25 年 5 月 22 日）

23 号（平成 25 年 6 月 10 日）

24 号（平成 25 年 8 月 23 日）

25 号（平成 25 年 10 月 15 日）

26 号（平成 25 年 11 月 26 日）

27 号（平成 26 年 2 月 27 日）

(4) 交流会の開催

第 6 回交流会 in 大阪（平成 25 年 6 月 22 日）

参加者：21 名

第 7 回交流会 in 大阪（平成 25 年 10 月 26 日）

参加者：13 名

(5) 電子ジャーナルのコンソーシアム価格の提案

3 社（EBSCO、新日本法規、サンメディア）

のコンソーシアム価格提案資料を、8 月 12 日および 10 月 11 日に会員に送付。

(6) 対外活動

日本病院ライブラリー協会より、ネットワーク会議として「各ネットワークの統計調査の内容について」の調査依頼があり回答した（平成 25 年 9 月）。

(7) 総会記念講演

日 程：平成 26 年 3 月 20 日（木）

時 間：14 時 45 分～15 時 45 分

場 所：キャンパスプラザ京都 2 階 第一会議室

演 題：今は昔、病図協が若かった頃

近畿病院図書館協会初代事務局長

（元星ヶ丘厚生年金病院図書室）

首藤 佳子 氏

I-2. 各部からの報告

I-2-1. 研修部

1. 活動報告

2回の勉強会、3回の研修会、1回の共催シンポジウムを開催した。

(1) 研修企画

第36回勉強会

日程：2013年7月20日(土)

時間：12時30分～17時00分

場所：神戸労災病院 7階大会議室

テーマ：新任者研修

プログラム：

① 近畿病院図書室協議会について

藍野大学中央図書館 増田 徹氏

② 病院図書館の基本業務(整理と保管)

洛和会音羽病院図書室 藤原 純子氏

③ 文献入手(ILL)について

京都桂病院図書室 椎木 淳美氏

④ KITOcatの使い方

目録サポートチーム 川野 眞樹氏

⑤ 神戸労災病院図書室見学

講師：事務局長・目録サポートチーム部長・
研修部員

参加者：18名

第37回勉強会

日程：2013年12月7日(土)

時間：13時30分～16時30分

場所：京都桂病院図書室

テーマ：図書、雑誌の修理

講師：藤原 孝氏(京都ノートルダム女子
大学司書課程非常勤講師：「図書の修
理と製本」を担当)

参加者：8名

平成25年度日本医学図書館協会近畿地区会、日本薬学図書館協会近畿・中四国・九州地区協議会、近畿病院図書室協議会共催シンポジウム

日程：2013年10月18日(金)

時間：12時30分～16時30分

場所：大阪市立大学医学情報センター研修室
(あべのメディックス6階)

テーマ：電子化される図書・文献の著作権を考
える スマホ時代における著作権—

プログラム：

① Springerにおける著作権に関連するトピッ クス

シュプリンガー・ジャパン株式会社

大中 和茂氏

② 実務で気になる著作権と著作権法、管理 団体の最近の動き

株式会社サンメディア 松下 茂氏

③ 国立国会図書館の資料デジタル化事業と 著作権処理

国立国会図書館関西館 水野 翔彦氏

④ 医学部で犯しやすい著作権の問題点

関西医科大学 山田 久夫氏

⑤ 全体討議

参加者数：13名(KHLA関係)

第131回研修会

日程：2013年9月28日(土)

時間：10時00分～17時00分

場所：学校法人大阪滋慶学園大阪ハイテク
ノロジー専門学校2階PCルーム

テーマ：やってみよう！診療ガイドライン検索
プログラム：

① プロダクトレビュー

株式会社サンメディア、
シュプリンガー・ジャパン株式会社、

EBSCO International、

株式会社医学書院、

Ovid Technologies、

NPO医学中央雑誌刊行会、

エルゼビア・ジャパン株式会社、

ユサコ株式会社(当日発表順・敬称略)

② 診療ガイドライン作成支援に必要な知 識・スキル・学び方

Independent Librarian 小嶋 智美氏

③ JMLA 診療ガイドライン検索事例

奈良県立医科大学附属図書館

大瀬戸貴己氏

④ 実習：やってみよう！診療ガイドライン

検索

小嶋 智美 氏、大瀬戸貴己 氏
山崎むつみ 氏

- ⑤ 診療ガイドライン検索と病院図書室担当者
静岡県立静岡がんセンター医学図書館
山崎むつみ 氏

参加者数：42名（会員25名、賛助会員6名、
会員外4名、講師・企業7名）

第132回研修会

日 程：2014年2月8日（土）
時 間：12時30分～16時45分
場 所：コープ・イン京都202号室
テーマ：病院図書室における機関リポジトリ
の可能性

プログラム：

- ① 機関リポジトリをする意味
大阪大学附属図書館 前田 信治 氏
- ② 機関リポジトリの開設と維持運営について
一関西福祉大学リポジトリの事例—
関西福祉大学附属図書館 西本 朱美 氏
- ③ 医学情報とリポジトリ
奈良県立医科大学附属図書館 和田 崇 氏
- ④ 導入&ランニングコスト
株式会社アグレックス 福田 典雅 氏
- ⑤ パネルディスカッション「病院図書室に
おける機関リポジトリの可能性」

前田 信治 氏、西本 朱美 氏
和田 崇 氏、福田 典雅 氏

参加者：27名（講師4名、会員18名、会員
外5名）

第133回研修会

日 程：2014年3月20日（木）
時 間：10時00分～12時00分
場 所：キャンパスプラザ京都2階第一会議室
テーマ：事例・研究報告会

プログラム：

- ① 洋雑誌の電子ジャーナル化計画
大阪赤十字病院診療情報管理課
雨乞 久美 氏
- ② DynaMed と MEDLINE with Full Text

および電子ジャーナルの導入と ILL 件数
の変化

京都桂病院図書室 椎木 淳美 氏

- ③ 病院機能評価・卒後臨床研修評価を受審
して

耳原総合病院医局事務課
江口 純子 氏

- ④ Kinki Webcat から KITOcat へ 一目録サ
ポートチームからの報告—

京都第二赤十字病院図書室
川野 眞樹 氏

名古屋記念病院図書室

春日井泉江 氏

松山市民病院図書室

高須賀京子 氏

島根県立中央病院図書室

高橋真由美 氏

- ⑤ 近畿病院図書室協会ホームページの改
修点と使い方について

関西労災病院図書室 寺澤 裕子 氏

三菱京都病院図書室 井上智奈美 氏

公立八鹿病院図書室 前垣 志穂 氏

藍野大学中央図書館 増田 徹 氏

石切生喜病院図書室 松尾 知香 氏

(2) 研修部会議

第1回 2013年5月19日（日）大阪5名

第2回 2013年7月20日（土）神戸4名

研修部会は、勉強会や研修会の前後の時間を
利用したほか、電子メール、近畿病院図書室協
議会コミュニティサイトにて会議を行った。

2. 今年度総括

平成25年度の研修部は5名で活動した。平成
22年度から4年にわたり研修部員として協力さ
れた山口氏に代わり、谷口氏が新たに研修部に
加わった。どの部員も業務や家庭事情で多忙な
中、それぞれの得意分野を生かして研修部活動
に協力いただき、研修会・勉強会は例年と同じ
回数の開催となった。研修会・勉強会ともに例
年と同程度の参加者があったものの、できる限
り会員が負担なく参加できる時期の開催を目指

したい。また、平成26年度は京阪神地区以外での研修会開催も実現させたい。

研修会・勉強会にはそれぞれ素晴らしい講師にお越しいただき、参加者からも好評であった。書籍、雑誌、インターネットなど情報や学びの場は増えているが、やはり研修会で共に学ぶ図書館員との出会い、交流から得られる学びや刺激の素晴らしさを、改めて実感した1年であった。平成26年度もさまざまな学びの場を作っていきたい。

3. 部 員

- 部 長：藤原 純子（音羽病）
部 員：雨乞 久美（阪日赤）
椎木 淳美（京都桂）
高橋 育子（姫路マ）
谷口裕美子（八尾）2013年11月～
山口 智子（奈社病）～2013年10月末

I-2-2. 会誌編集部

1. 活動報告

会誌32巻2、3、4号および33巻1号を発行。
配布部数：218部（会員127、購読会員65、交換・寄贈26）

印刷部数：各号300部

(1) 会誌内容概略

32巻

2号（発行2013年5月53頁）

特集：総会・事例報告会（第127回研修会）

図書館蔵書検索システムの紹介

文献複写業務にグループウェアを用いた効果
看護図書の分類法を考える

近畿病院図書室協議会とともに歩んだ社会
保険神戸中央病院図書室の38年～近畿病院
図書室協議会の歴史を概観して～

3号（発行2013年8月47頁）

特集：コメディカル部門を知る 其の参

診療放射線技師業務の紹介と病院図書館と
のかかわり

臨床心理士の巻

私たちの仕事—言語聴覚士（ST=Speech
language hearing Therapist）

当院における微生物検査技師の役割

4号（発行2013年10月47頁）

特集：臨床支援ツール

UpToDateについて

臨床支援ツールにふれてみよう The Cochrane
Library（コクラン・ライブラリー）

DynaMed プロダクトレビュー

ACP PIERについて

33巻

1号（発行2014年2月98頁）

特集1：図書館員の光る小ワザ集

特集2：総会・事例報告会

図書室引越顛末記

外国雑誌直接購入の試み

外国雑誌冊子体から電子ジャーナルへ—オ
ンラインジャーナルはこうして始まった

病院図書館と機関リポジトリ

総会記念講演：看護研究は何で行き詰まり、看
護研究者は何を求めているか

(2) シリーズ掲載

「使えるアプリ」

1. 論文検索 free

2. 週刊医学界新聞モバイルアプリ

3. がん治療と食事

「図書館員のツボ」

23. クラウドって？

24. マニアな世界へようこそ!!!—ペイントソ
フト「Pixia」

25. Officeのショートカットキー—Excel・
Word・PowerPoint—

26. 病気と色

「Libpedia—よくわかる用語解説—」

6. 拡張子

「ちょっとこぼれ話」

37. (Vol. 32 No. 3)

38. (Vol. 32 No. 4)

39. (Vol. 33 No. 1)

(3) 掲載広告各社

サンメディア
ユサコ
医学中央雑誌刊行会
丸善

増田 徹 (藍野大)
松尾 知香 (石切病)

(4) 編集会議

- 第1回 2013年5月25日(土) 茨木 4名
- 第2回 2013年8月4日(日) 茨木 5名
- 第3回 2013年11月30日(日) 茨木 4名
- 第4回 2014年1月19日(日) 大阪 4名

2. 今年度総括

平成25年度より、発行回数を年2回に変更した。少しでも発行遅れがなくなるよう、発行は年2回だが編集会議は年4回行い編集作業に努めた。内容は、会員の業務に身近で役立つものとなるよう心がけ、また、会員へも呼びかけてそれぞれが持っている知恵を募集し、それらを記事として掲載した。

図書の出版作業は『わかる医学用語』の改訂版を依頼中だが、著者の業務が多忙なため発行には至っていない。平成26年度には発行したいと考える。

部員については、突然の異動により、年度途中で前垣氏(八鹿病)が退部となり残念であった。前垣氏には、年度末までオブザーバーとして編集活動に協力いただいた。嬉しいことに、平成26年度は岩瀬氏(国京医)が新たに入部することとなった。新戦力としての期待が高まる。長年同じメンバーだけで編集作業を行うと掲載内容に偏りが生じるため、今後も新メンバーの加入を心待ちにしている。

平成26年度は3冊発行をめざし、発行の遅れを取り戻せるよう部員全員で協力していきたい。原稿の執筆や特集の提案など、会員の皆さまからの積極的な協力が得られるよう期待している。

3. 部員

- 部長：井上智奈美(三菱京)
- 部員：寺澤 裕子(関労災)
- 前垣 志穂(八鹿病)
- 2013年10月1日～オブザーバー参加

I-2-3. 統計調査部

1. 活動報告

平成25年度の統計調査は、平成24年度の実状について調査した。

調査項目は「詳細」と「簡易」を隔年交互に実施しているが、平成25年度は簡易調査の年にあたっていた。

2. 図書室統計調査報告書の発行

- a. 調査対象期間：2012年4月1日～2013年3月31日
- b. 調査対象：全121会員施設中、賛助会員を除く117施設に依頼
- c. 調査項目：年次統計調査
- d. 作業経過：

- 2013年8月15日 調査用紙を各施設へ発送
- 2013年8月19日 ホームページに統計調査発送の告知と回答依頼
- 2013年9月30日 回答締切日
- 2013年10月30日 第1回督促作業
- 2013年12月 集計開始
- 2014年1月30日 データチェック、集計方法検討
- 2014年2月1日 報告書発送
- 2014年3月9日 報告書(修正分)発送
- e. 回答施設：97施設(回答率82.9%)

3. 文献の相互利用 ー平成24年度協議会全体での件数ー

(2014年3月9日)

〈相互貸借依頼〉 (97施設)		
協議会会員	8,242	(20.9%)
会員以外の病院	3,220	(8.2%)
大学図書館	14,799	(37.5%)
文献手配業者	9,412	(23.8%)
国立国会図書館	1,692	(4.3%)
その他	2,116	(5.4%)
	39,481	(100.0%)

〈相互貸借受付〉 (97 施設)		
協議会会員	8,674	(47.4%)
会員以外の病院	7,307	(39.9%)
その他	2,323	(12.7%)
	18,304	(100.0%)

4. 今年度総括

平成 25 年度は簡易調査を行った。平成 24 年度調査時は 101 施設 (85.6%) からの回答であったが、平成 25 年度調査では、最終的に 97 施設 (82.9%) からの回答を得ることができた。8 月 15 日に調査用紙を送付し、督促も 1 回行ったが、その後の郵送で送られた 1 施設の到着が確認できず、データが加えられなかった件が発生しており、今後は集計票の受け取り・確認方法について検討が必要。

2014 年 2 月 14 日の役員会にて、統計調査結果の相互貸借受付部分に数字の不整合がある旨の指摘を受け、修正部分を再送することとなった。今後は集計作業についても細心の注意を払っていきたい。

集計については前回の簡易調査と形態を同じにしたが、回答用紙ならびに記入方法の説明にさらなる工夫および解釈の統一が必要と思われる。

今回集計結果の公開についてアンケートを行った。この数字を生かすべく、平成 26 年度は公開を了承した施設に対しては、了承した施設の実データ送付を進めたいと思っている。報告書の作成方法や様式についても今後の課題としたい。

統計調査は当協議会活動の一つであり、会発足初期から開始され、病院図書館の貴重な資料となっている。平成 25 年度の調査ではおおむね会員施設の協力を得ることができたが、督促をしても無関心な施設があり、協議会活動の在り方を考えさせられた。統計調査報告はネットワークの動向を知る基礎資料であることをふまえ、統計調査への参加は会員の義務という認識をいまいちど推し進め、一層のご協力をお願い

したい。

5. 部 員

部 長：畑 美之 (阪警察)
部 員：椎木 淳美 (京都桂)

I-2-4. ホームページ WG

1. 活動報告

2013 年 9 月 ホームページ修正用ソフト Adobe Contribute6.5 を購入し配布
(事務局、研修部、会誌編集部、目録サポートチーム、ホームページ WG)

2013 年 12 月 ウェブサイト改修注文契約の締結

2014 年 1 月 テストサイトにて進捗状況の確認を開始

2014 年 2 月 改修作業中

2. 今年度総括

平成 25 年度は 5 人で活動を行った。

ソフトを各事業部に配布したことでテキスト程度の修正を各部で行うことができ、情報発信がよりスムーズになった。

当協議会ホームページは、会員の要望を受けて再改修を行った。コンテンツを特別に追加することはなく、ページ上の配列を変更した。会員専用ページ「コミュニティサイト」は名称とデザインを変更し、当協議会内での利用ルールを作った。コミュニティサイトは正式名称を「近畿病院図書室協議会会員専用ページ」、愛称を「近図雲」と決め、改修を行った。

平成 26 年度は近図雲が会員に浸透するよう研修会などを通じて使い方を説明することや、近図雲の活用促進のための活動を行う。また、保守料金の見直しを行うことなどサイトの適切な運用につとめる。

3. 部 会

第 1 回 2013 年 5 月 25 日 (土) 茨木 4 名

第 2 回 2013 年 8 月 4 日 (日) 茨木 5 名

第 3 回 2013 年 11 月 30 日 (日) 茨木 4 名

第4回 2014年1月19日(日)大阪4名

4. 部員

部長：寺澤 裕子(関労災)
 部員：井上智奈美(三菱京)
 前垣 志穂(八鹿病)
 2013年10月1日～オブザーバー
 参加
 増田 徹(藍野大)
 松尾 知香(石切病)

I-2-5. 目録サポートチーム

1. 活動報告

(1) 近畿病院図書室協議会所蔵雑誌目録 Web
 版(KITOCat) 概要(平成26年1月時点)

<https://www.melin.jp/>

登録機関数：116 機関

〈フルテキストパッケージの電子ジャーナルタイ
 トル除いたもの〉

登録タイトル数：3,672 タイトル

所蔵レコード数：24,999 レコード

〈フルテキストパッケージ〉

メディカルオンラインの登録

タイトル数(機関数)：967 タイトル (22)

ClinicalKey の登録

タイトル数(機関数)：538 タイトル (3)

ProQuest の登録

タイトル数(機関数)：1,041 タイトル (1)

〈KITOCat の全レコード数〉

雑誌タイトル数：15,346 タイトル

全所蔵レコード数：83,487 レコード

参加図書館(室) ネットワーク数：4

(2) 近畿病院図書室協議会所蔵雑誌目録 Web
 版利用状況

雑誌検索利用ログ*1

2013年1月～3月(Kinki Webcat)：13,038

2013年6月～12月(KITOCat)：67,242

機関検索利用ログ*1

2013年1月～3月(Kinki Webcat)：1,562

2013年6月～12月(KITOCat)：7,014

トップページアクセスログ*1

2013年1月～3月(Kinki Webcat)：7,151

2013年6月～12月(KITOCat)：12,869

*1：Kinki Webcat と KITOCat では集計方法が異なるシステムになった。また、2013年4～5月の利用状況は新ログシステム更新前で、集計方法が異なり合計の対象とされず、その間のネットワーク個別の集計がない。

(3) 目録サポートチーム会議

第1回 2013年10月27日(日)大阪6名

2. 今年度総括

平成25年度、目録サポートチームは4名で活動した。活動として円滑な会員間の文献複写の相互利用につながるよう、会員の実情に合わせるよう努めた。フルテキストデータベースの一括登録をはじめとして、電子ジャーナル書誌マスタの登録を始めるなど、KITOCat の整備を行い、今後の運用についての会議を開催した。

平成23年度より、旧目録 Kinki Webcat と同システムを使用している東海地区医学図書館協議会(TOMcat)と目録システム業者(ナレッジワイヤ)との合同協議を行っていた新目録システムである KITOCat が、2013年4月に本稼働した。KITOCat は TOMcat との合同システムになっただけでなく、新たに他図書館ネットワークの参加も可能となったことで、廉価で Web の特性を生かした広がりのある目録システムとなった。また、他図書館ネットワークとの合同利用になったため、書誌については NACSIS 準拠となり、従来のように独自の書誌マスタの登録や、目録システムの改修も難しくなった。しかし、独自性が失われても会員のための目録および相互利用(ILL)システムとして活用を図るため、従来の郵送による通知に加え、当協議会ホームページ上での案内なども含めて会員に対し細やかなサポートを行い、会員間の円滑な相互利用(ILL)を目指し、活動を行っていたと考えている。

今後の活動について会員の皆さまには目録および相互利用(ILL)システムの活性化を図るため、目録サポートチームへの新部員として参

加をお願いしたい。

3. 部 員

部 長：川野 眞樹（京二赤）

部 員：春日井泉江（名記念）

高須賀京子（松山市）

高橋眞由美（島根）

I - 3. 会員業績（当協議会内関係での発表は除く）

(1) 春日井泉江（名記念）

近畿病院図書室協議会の紹介：現在の活動と東海目録との関わり

第 27 回静岡県医療機関図書室連絡会定例会・研修会

2013 年 6 月 7 日

(2) 春日井泉江（名記念）

近畿病院図書室協議会：Kinki Webcat からKITOcatへ

ぶっくとらっく 2013; 22(1): 8-11.

(3) 川野眞樹（京二赤）

事例報告：相互利用（ILL）

日赤図書館雑誌 2013; 20(1): 28-31.

(4) 岡本美春（姫路赤）ほか

日赤図書室協議会の活動紹介：設立 20 周年を迎えて

第 49 回日本赤十字社医学会総会

2013 年 10 月 17 日

(5) 繁定繁乃（広赤病）ほか

日赤図書室協議会による電子ジャーナル・コンソーシアムの取組み

第 49 回日本赤十字社医学会総会

2013 年 10 月 17 日

議案Ⅱ. 平成 25 年度会計・監査報告

(資料 1) 平成 25 年度予算

■収入の部			(単位：円)
科 目	金 額	備 考	
正会員会費	3,480,000	116 施設×30,000 円	
賛助会員会費	250,000	5 施設×50,000 円	
購読会員会費	108,000	18 施設×6,000 円	
広告掲載料	370,000	31 巻×3 社、32 巻×4 社	
前年度繰越金	4,362,068		
合 計	8,570,068		

■支出の部			
科 目	金 額	備 考	
〔事業費〕			
研修部	500,000		
会誌編集部	500,000	32 巻 1～4 号分@5 万、33 巻分 4 回 (2 回 2 万、2 回 5 万)、取材費など	
統計調査部	200,000	平成 24 年度統計送料なども含む。	
ホームページ WG	140,000		
目録サポートチーム	150,000		
対外活動費	250,000	関連団体への派遣費用	
その他事業	700,000	研究助成金 3 件、交流会 2 回、新規事業など	
事業費合計	2,440,000		
〔管理費〕			
会誌発行費	3,760,000	32 巻、33 巻 6 号分×41 万、本出版費用 (濱口氏 130 万)	
目録メンテナンス費	150,000	月額 1 万円	
HP メンテナンス費	1,200,000	272,550 円 (平成 24)、改修費	
資料費	23,000	情報の科学と技術 20,916 円	
資料管理費	40,000	協議会資料	
会議費	100,000	総会、幹事会 (総会は平成 23、24 年度分)	
旅費交通費	250,000	総会参加助成金 3 万円×5 人を含む	
通信運搬費	100,000	郵送 1 回につき約 1 万円	
印刷製本費	50,000	総会資料など	
諸謝金	55,000	総会特別講師 5 万円 (平成 23 年度分)	
消耗品費	150,000	封筒代含む	
業務委託費	20,000		
予備費	200,000		
雑費	32,068		
管理費合計	6,130,068		
合 計	8,570,068		

(資料2) 平成25年度活動計算書

平成25年3月1日～平成26年2月28日

(単位：円)

科 目		金 額	
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員	3,480,000		
賛助会員	200,000		
正会員入会金	10,000		
賛助会員入会金		3,690,000	
2. 受取寄付金	0	0	
3. 事業収益			
会誌購読会費	150,000		
研修会参加費	24,000		
広告掲載料	370,000		
刊行物売上	712,829		
メディカルオンライン使用料	6,156	1,262,985	
4. その他収益			
利息	893		
雑収入		893	
経常収益計			4,953,878 ①
II 経常費用			
1. 事業費			
研修部	368,778		
会誌編集部	277,701		
統計調査部	87,862		
ホームページWG	96,690		
目録サポートチーム	54,600		
対外活動費	86,900		
その他事業	137,340		
事業費計		1,109,871	
2. 管理費			
会誌発行費	1,613,635		
目録メンテナンス費	126,420		
HPメンテナンス費	598,470		
資料費	21,357		
資料管理費	5,670		
会議費	51,257		
旅費交通費	103,130		
通信運搬費	128,232		
印刷製本費	37,680		
諸謝金	30,000		
消耗品費	49,000		
業務委託費	0		
租税公課	400		
予備費	0		
雑費	8,220		
管理費計		2,773,471	
経常費用計			3,883,342 ②
当期正味財産増減額			1,070,536 ③
前期繰越正味財産額			4,362,068 ④
次期繰越正味財産額			5,432,604 ④

①+③=9,315,946

②+④=9,315,946

(資料3) 平成25年度経常費用事業費内訳

(単位:円)

	会議費	旅費交通費	通信運搬費	印刷製本費	資料費	諸謝金	消耗品費	業務委託費	雑費	計
1. 事業費										
研修部	58,879	97,830	19,200	5,896	0	163,000	7,690	0	16,283	368,778
会誌編集部	16,737	69,140	72,370	0	0	110,000	4,800	0	4,654	277,701
統計調査部	3,325	3,720	20,900	57,117	0	0	0	2,800	0	87,862
ホームページWG	0	2,200	490	0	0	0	94,000	0	0	96,690
目録ST	13,500	41,100	0	0	0	0	0	0	0	54,600
対外活動	0	76,860	0	0	0	10,040	0	0	0	86,900
その他の事業	98,830	38,510	0	0	0	0	0	0	0	137,340
事業別合計	191,271	329,360	112,960	63,013	0	283,040	106,490	2,800	20,937	1,109,871

(資料4) 貸借対照表兼財産目録

平成26年2月28日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
手元現金	220,767		
三井住友銀行	111		
ゆうちょ銀行(総合)	3,438,622		
ゆうちょ銀行(振替)	1,485,865		
amazon用口座	287,239		
流動資産合計		5,432,604	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			5,432,604
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		4,362,068	
当期正味財産増減額		1,070,536	
正味財産合計			5,432,604
負債および正味財産合計			5,432,604

平成25年度 活動計算書
平成25年3月1日～平成26年2月28日

(単位:円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員	3,480,000		
賛助会員	200,000		
正会員入会金	10,000		
賛助会員入会金		3,690,000	
2. 受取寄付金		0	
3. 事業収益			
会誌購読会費	160,000		
研修会参加費	24,000		
広告掲載料	370,000		
刊行物売上	712,829		
メディアカルオンライン使用料	6,156	1,262,885	
4. その他収益			
利息	893		
雑収入		893	
経常収益計			4,953,678 ①
II 経常費用			
1. 事業費			
研修費	368,778		
会誌購読部	277,701		
統計調査部	87,862		
ホームページWG	96,690		
目録サポートチーム	54,600		
対外活動費	86,900		
その他事業	137,340		
事業費計		1,109,871	
2. 管理費			
会誌発行費	1,613,635		
目録メンテナンス費	126,420		
HPメンテナンス費	598,470		
資料費	21,357		
資料管理費	5,670		
会議費	51,257		
旅費交通費	103,130		
通信運搬費	128,232		
印刷製本費	37,580		
謝礼金	30,000		
消耗品費	49,000		
業務委託費	0		
租税公課	400		
手数料	0		
雑費	8,220		
管理費計		2,773,471	
経常費用計			3,883,342 ②
当期正味財産増減額			1,070,336 ③
前期繰越正味財産額			4,362,068 ④
次期繰越正味財産額			5,432,604 ⑤

① + ③ = 9,315,946
② + ④ = 9,315,946

貸借対照表兼財産目録
平成26年2月28日現在

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
手元現金	220,767		
三井住友銀行	111		
ゆうちょ銀行(総合)	3,438,622		
ゆうちょ銀行(振替)	1,485,865		
amazon用口座	287,239		
流動資産合計		5,432,604	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			5,432,604
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		4,362,068	
当期正味財産増減額		1,070,536	
正味財産合計			5,432,604
負債及び正味財産合計			5,432,604

平成25年度経常費用事業費内訳

(単位:円)

	会議費	旅費交通費	通信運搬費	印刷製本費	資料費	謝礼金	消耗品費	雑費	計
1. 事業費									
研修費	58,879	97,830	19,200	5,896		163,000	7,690	16,283	368,778
会誌購読部	16,737	69,140	72,370			110,000	4,800	4,654	277,701
統計調査部	3,325	3,720	20,900	67,117				2,900	87,862
ホームページWG			2,200	490			94,000		96,690
目録サポートチーム	13,500	41,100							54,600
対外活動費						10,040			86,900
その他事業	98,830	38,510							137,340
計	191,271	329,360	112,960	63,013	0	283,040	106,490	2,800	1,109,871

平成25年度活動計算書と事業費内訳、貸借対照表兼財産目録を監査した結果、適法に処理、記載されていると認めます。

平成26年3月7日

石川尚

森仁寿

議案Ⅲ. 統計調査実データ開示について

統計調査部は各会員施設よりの調査データを取りまとめた形式で報告しているが、実データの開示・閲覧を希望する施設もあり、アンケートを行った結果をふまえ、現在のとりまとめ形式と開示を容認する施設間のみ開示を行えるようにしたいと考える。

(提案者：統計調査部)

議案Ⅳ. 機関リポジトリ構築に向けての、プロジェクトチームの設置について

第29回医学情報サービス研究大会のワークショップ「リポジトリで発信する医療情報—病院図書館との連携—」に、病院図書館として参加したときから、病図協として機関リポジトリとのかかわりについて考えることとなった。2月に行われた第132回研修会では、研修に先立ちメーリングリストを立ち上げ、研修会当日においてもさまざまな立場の方から機関リポジトリについて講義を聞き、会員内におけるリポジトリについての認識や理解が広がりはじめている。

機関リポジトリの構築は、そこへ論文をアップする施設だけが恩恵を受けるのではなく、会員その他の施設がそれらの資料をたやすく利用できるようになり、さらには根本的な学術情報流通のあり方を変えることのできる社会的に意義のある事業である。

平成26年度においては、事務局内に病図協リポジトリのプロジェクトチームをおき、各施設の紀要発行状況やその著作権の状況、会員館のリポジトリへの意向などを調査して、病図協におけるリポジトリの構築について検討していきたいと考えている。

(提案者：事務局)

議案Ⅴ. 平成26年度活動方針

研修会や勉強会は、平成25年度の活動を継続していきたい。会誌の発行は年2回だが、濱口恵子氏の『わかる医学用語』改訂版を出版する。ホームページは会員専用ページを改修し、会員間および幹事・事務局・各部と会員との間の新たなコミュニケーションのあり方を実現させたい。KITO catは、Web目録および相互利用システムとしての適切な運用を目指す。

平成26年度は、機関リポジトリについて、病図協としての方向を決めていくことになる。病図協として支えていく人材の確保だけでなく、各会員館における努力も多くのものが要求されるだけに、会員の姿勢が問われることになる。

議案Ⅵ. 平成26年度事業計画

1. 教育研修活動

- * 研修会・勉強会の開催
- * 研修会参加交通費の助成
- * 関連団体の研究・研修会への案内と参加奨励
- * 研究助成金制度の継続
- * 総会参加助成制度の継続
- * 地域交流会の開催

2. 出版広報活動

- * 会誌「病院図書館」の発行
- * 図書の出版
- * ホームページの公開とそのメンテナンス
- * 会誌・会報バックナンバーの収集保存および公開
- * ニュースレターの発行

3. 医学文献情報活動

- * 医学雑誌現行情報の収集
- * 雑誌総合Web目録の維持・管理
- * 機関リポジトリ構築についての検討

4. 年次統計などの調査活動

- * 年次統計と相互貸借の調査

5. 対外活動

- * 関連団体との交流・連携

議案Ⅶ. 平成 26 年度予算

(資料 6) 平成 26 年度予算案

(単位：円)

■収入の部		
科 目	金 額	備 考
正会員会費	3,480,000	116 施設×30,000 円
賛助会員会費	200,000	4 施設×50,000 円
購読会員会費	96,000	32 施設×3,000 円 (16 施設は入金済み)
広告掲載料	110,000	33 巻×4 社
前年度繰越金	5,432,604	
合 計	9,318,604	

■支出の部		
科 目	金 額	備 考
〔事業費〕		
研修部	500,000	
会誌編集部	400,000	33-34 巻 1~2 号分@5 万、取材費など
統計調査部	200,000	
ホームページ WG	100,000	
目録サポートチーム	400,000	研修会 1 回
対外活動費	600,000	関連団体への派遣費用
その他事業	1,800,000	研究助成金、交流会、書籍配布、新規事業など
事業費合計	4,000,000	
〔管理費〕		
会誌発行費	3,000,000	33 巻、34 巻各 2 号 4 冊分×41 万、本出版費用
目録メンテナンス費	150,000	月額 1 万円
HP メンテナンス費	300,000	月額 2 万円
資料費	25,000	情報の科学と技術 20,916 円
資料管理費	40,000	協議会資料
会議費	100,000	総会、幹事会
旅費交通費	300,000	総会参加助成金 3 万円×5 人を含む
通信運搬費	120,000	
印刷製本費	50,000	総会資料など
諸謝金	55,000	総会特別講師料など
消耗品費	500,000	協議会備品の整備、バッジ作製など
業務委託費	20,000	
予備費	400,000	
雑費	258,604	
管理費合計	5,318,604	
合 計	9,318,604	